

# 授業改善推進プラン<理科>

## 1 指導目標

自然に対する関心を高め課題意識をもって観察、実験などを行い、科学的に調べる能力と態度を育てる。さらに自然の事物・現象についての理解を深めさせ、科学的な見方や考え方を養う。

## 2 平成25年度における考察と課題

- ・日頃の授業や学力調査等の結果から、本校の生徒は理科に対する関心・意欲は高い。積極的に発言し、ノートのとりに方も工夫が見られるが、実験・観察において先を見通す力にまだ課題がある。
- ・ティームティーチング（TT）を活用した授業を実践することができた。グループ学習を中心に、話し合う力や、自ら問題解決をしていく力をTTを最大限に活かし教育していく。

## 3 平成26年度へ向けての改善のポイント

- ・関心・意欲を高め、日常生活や実社会で学んだことを活かすために以下のことを行う。
  - ①実物教材に加え、資料集等を活用し図や写真、映像を効果的に使用する。
  - ②実験・観察前に、結果の予想を自分の言葉で表現させ、それをもとに実習に取り組む。
  - ③考察力を高めるために、実験方法も含めて自ら考えて取り組む授業を取り入れる。
  - ④グループ学習を取り入れ、学び合い、教え合いから、考察のヒントをつかませる。
- ・1・2年で行っているティームティーチングの指導では、主に実験・観察・実習等に活用し、それらをより重視した細やかな個別指導に力を入れる。

## 4 評価の工夫

観点項目	観点項目の趣旨	おもな評価内容
自然事象への関心・意欲・態度	身近な事物・現象に関心を持ち、意欲的に学習することができるか。	発表、ノート、ワーク、レポート、参加意欲
科学的な思考	身近な・事物現象について、自分の考えをまとめ、説明できたか。	観察、実験の考察、テスト
観察実験の技能・表現	観察、実験の基本操作を正しく行い、適切に結果をまとめることができたか。	観察実験の操作、器具の扱い、レポート、テスト
自然事象についての知識・理解	学習した内容を整理し、基本的な知識を身につけることができたか。	定期テスト、小テスト、課題ノート